



ありがとう、ロータリアン！ ⑱ 一期一会から広がる出会い



Druskininkai Atgimimas School 教員
ロヴェナ・カヴァラシエジュテ さん

出身：リトアニア
奨学期間：2009 - 11
学校名：信州大学大学院
世話クラブ：須坂RC

私はずっと小田切さんの優しさと気遣いに包まれていたように思います。ほかの会員の皆さんも私のことを気にかけてくださり、例会やクラブの行事に参加すると、いつも温かく歓迎されていると感じました。

日本で過ごした数年間は、私の人生で最良の時間でした。そして、米山記念奨学金の支えと須坂RCの皆さんとの出会いがあったからこそ、充実した留学生生活を続けることができた、と今でも心から感謝しています。

素晴らしい人々との出会い

私は2007年、リトアニアから毎年ただ一人選ばれる、文部科学省の教員研修生として日本にやってきました。

最初の1年間は発見の連続でした。特に素晴らしいと感じたのは、人です。こんなに多くの優しく誠実な人々に会ったことはありませんでした。何のお返しもできない留学生の私に、周りの皆さんは本当に親切にしてくれました。次第に、日本でもっと研究したいという気持ちが強くなり、私は信州大学修士課程の入試を受けました。合格はしたものの、奨学金がもらえなければ進学をあきらめなければならず、米山記念奨学金の合格通知をもらったときの幸せは、言葉では表せません。

世話クラブとなった第2600地区（長野県）の須坂ロータリークラブ（RC）の例会に初めて出席する前に、カウンセラーの小田切綾子さんからメールをいただき、とても親切な方だとわかりました。実際、日本にいる間、

日本での経験を分かち合うために

修了後、2011年4月に帰国してからは、留学前に勤めていた学校に戻り、教師を続けています。

日本で経験したことをリトアニアの人々、特に生徒たちと分かち合いたいと、学校にジャパンプラブ「Sakura Blossom in Druskininkai（ドゥルスキンカイの桜の花）」を設立しました。ドゥルスキンカイは私たちの街の名で、日本とリトアニアの結びつきを深め、この街で少しでも日本文化に親しみたいとの願いを込めました。現在、11～15歳の生徒30人が、書道や剣道、着付け、生け花などを体験しています。

熱心に取り組む生徒たちの様子から、単に新しいことに挑戦する楽しさだけでなく、ヨーロッパの文化とは異なる日本独特の自然観や美意識、他者との調和を重んじる精神などを感じ取っていることがわかります。生徒たちにはもっと多くの異文化に触れて、自国の文化との違

ロヴェナさんのクラブで日本文化に親しむ生徒。生け花（右）や着付けを体験



バルト三国の一つ、リトアニアで教師をしている米山学友のロヴェナ・カヴァラシエジュテさんは、日本での留学から帰国した後、勤務する学校にジャパンクラブをつくって、自分が体験した日本文化の素晴らしさを生徒たちに伝えています。そうすることで、日本でお世話になった多くの人たちに「少しでも感謝の気持ちを表したい」と語るロヴェナさんが、生徒たちの写真とともに、その活動報告を寄稿してくれました。

いや共通点を発見してほしいと願っています。

広がる交流の輪

2012年5月、私はクラブの生徒たちを引率し、日本を再訪しました。留学中に私が橋渡しをして交流を始めた長野市内の小学校を、校長と私、そして6人の生徒たちと訪問したほか、友人たちの案内で、日本各地を見学しました。生徒たちには夢のような旅行であり、日本のさまざまな素晴らしいものを生徒たちに見せることができ、私も幸せな気持ちでした。

小田切さんは、日本に来ることのできなかつた生徒たちへのプレゼントをたくさん持って、私たちに会いに来てくれました。帰国後、クラブの子どもたちがこのプレゼントにとっても喜んだのは、言うまでもありません。

今年9月には早稲田大学の学生12人が2日間、当校を訪れ、200人以上の生徒と書道、折り紙、日本語のワークショップを通じて交流しました。その学生のうちの一人が来年3月から当校でインターンシップを行い、私のアシスタントとしてクラブの活動をサポートしてくれることになっています。

宮崎県と広島県の中学校との交流も新たにスタートしました。いつかまた新しい生徒たちを日本に連れていき、お互いの文化を紹介し合う素晴らしい交流ができるように努力することが、目下の目標です。

日本には「一期一会」という有名なことわざがありますが、私と日本との出会いをきっかけに、こうして多くの新しい出会いが生まれていることを、心からうれしく思っています。

カウンセラー
小田切綾子氏から一言



東欧のリトアニアからはるばる日本を留学の地にしたロヴェナさん、見知らぬ国での夢と希望と不安は、さぞ大きかったことと思います。約3年半の日本滞在の間、たくさんのお友達と交流し、日本文化を学び、帰国後は勤務先の学校で日本のさまざまな伝統文化、行事を紹介していて、私が送ったお味噌汁やカレーを生徒やそのご両親に振る舞うこともあるそうです。彼女のエネルギッシュな活動が、いつか大きく花咲くであろうと楽しみに期待しています。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または「よねやまだより」についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。
TEL：03-3434-8681 FAX：03-3578-8281
Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp

ネパールに米山学友会が誕生！

海外5番目となる米山学友会がネパールに誕生しました。10月19日、カトマンズ市内での創立総会にはネパールの米山学友15人、日本のロータリアンや関西米山学友会役員ら11人のほか、浜田清彦在ネパール日本国大使館一等書記官ら来賓を含む約40人が出席。初代会長に選ばれたスレス・ダス・シュレスタさん（大阪天王寺RC、現・カトマンズRC会員）は「米山記念奨学金のおかげで、ネパールには農業をはじめ各分野のリーダーとして活躍する学友が大勢います。今後は全員と連絡を取り合い、一丸となって日本とネパールの懸け橋となるよう頑張りたい」と、抱負を語りました。



ネパールにも米山学友会が誕生